

2023年度

GA

英 語

3月12日(日) 情 報 学 部

【後 期 日 程】 (情報社会学科, 行動情報学科)

15 : 10 ~ 16 : 30

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(3枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、6ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 問題は、声を出して読んではいけません。
- 6 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 7 問題冊子は、必ず持ち帰りなさい。

- 1 次の英文を読んで、問1～問5に答えなさい。(配点35%)

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

interstellar medium : 星間物質 radiate : 放射する cosmic : 宇宙(天体)の
autobiography : 自伝 theory of general relativity : 一般相対性理論 stellar : 星の
spectra : 分光スペクトル lithium : リチウム barium : バリウム
abundant : 豊富な helium : ヘリウム twilight : たそがれ

(出典: "Cecilia Payne-Gaposchkin: the woman who found hydrogen in the stars." *Physics World*.

<https://physicsworld.com/a/cecilia-payne-gaposchkin-the-woman-who-found-hydrogen-in-the-stars/> 出題にあたり一部改編した。)

問 1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問 2 下線部(2)の "This" の内容を日本語で答えなさい。

問 3 下線部(3)に関して、次の質問に英語で答えなさい: What was the big surprise?

問 4 下線部(4)に関して、ヘンリー・ラッセルが仮説に間違いがあると考えた理由を日本語で説明しなさい。

問 5 下線部(5)に関して、次の質問に英語で答えなさい:

What was truly significant?

2

次の英文を読んで、問1～問5に答えなさい。(配点35%)

著作権の関係上、公表しません。

chardonnay：シャルドネ種のブドウで造った白ワイン

rosé：ロゼ(薄いピンク色のワイン) augment：増加させる aroma：芳香

tinkle：ちりんちりん鳴る robust：強固な nutrient：栄養素 toxin：毒素

nearsightedness：近視 neuron：ニューロン(神経細胞とその突起の総称)

regenerate：再生する

(出典：“The Flavor Illusion.” *The Brain*. National Geographic 2022 special edition. pp.48-49. 出題にあたり一部改編した。)

問 1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。その際 this same principle がどのような内容かが分かるように訳しなさい。

問 2 下線部(2)“a more realistic possibility” の具体例として、筆者はどのような例を挙げていますか。日本語で答えなさい。

問 3 甘さの感覚を増すことを可能にする外的環境要因として、筆者はどのような例を挙げていますか。日本語で答えなさい。

問 4 Wang 氏は嗅覚と味覚で風味(flavor)を味わうことの魅力としてどのようなことを述べていますか。他の感覚との対比を踏まえながら日本語で答えなさい。

問 5 文中に(a)～(e)の空欄があります。それぞれに入る適切な前置詞を以下から選びなさい。その際、同じ前置詞を 2 回使ってははいけません。

[of without from by on]

- 3** 現代社会や私たちの身の回りの生活には、コンピュータを搭載したものが数多く存在します。あなたが一番興味・関心のあるものはどのようなもので、また将来においてそれがどのように進化するのが望ましいかについて、120 語程度の英語で述べなさい。(配点 30 %)

正解・解答例

教科・科目名	英語（後期日程試験：令和5年度） 1 / 2	問題番号	G A
対象学部・学科	情報学部・行動情報学科，情報社会学科		
<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">1</div> 35%	<p>問 1： 水素の宇宙における重要性がセシリア・ペインという一学生によって初めて理解されたことを知っている人の数は多くない。（7点）</p> <p>問 2： アインシュタインの一般相対性理論を確証した 1919 年の西アフリカへの調査旅行に関するエディントンの講演。（7点）</p> <p>問 3： The big surprise was that hydrogen was a million times more abundant than the other elements.（7点）</p> <p>問 4： ラッセルは、水素が金属よりも 100 万倍も多く存在することはあり得ないと考えていたから。あるいは、ラッセルは、地球と太陽は同じ成分でできていると考えていたから、という解答も正解。（7点）</p> <p>問 5： It was significant that Menzel got Payne appointed a full professor of astronomy.（7点）</p>		
<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">2</div> 35%	<p>問 1： しかし現在まで、こうした色が風味に関する知覚を変化させるという原則が、着色が現れないコーヒーのような物理的特性を持つものに当てはまるかどうかを検査する簡単な方法がなかった。（7点）</p> <p>問 2： 飲み物の糖분을減らし、イチゴやカラメルの芳香のような他の甘みを知覚させるものを加え、砂糖がそこに入っていると思わせるように脳に錯覚を起こさせること。（6点）</p> <p>問 3： 背後で高音のチャイムが鳴っているところで、飲み物をピンク色に着色し、ピンク色の部屋で丸いカップに入れて出す、といった環境。（6点）</p> <p>問 4： 外科医でないと矯正できない近視とは違って、嗅覚と味覚のニューロンは数週間ごとに再生するので、風味を新たな高いレベルで味わうことができるようになるチャンスがある、ということ。（6点）</p> <p>問 5： (a) on (b) of (c) by (d) without (e) from（2点×5＝10点）</p>		
採点時の配点 35点			
採点時の配点 35点			

正解・解答例

教科・科目名	英語（後期日程試験：令和5年度） 2 / 2	問題番号	G A
対象学部・学科	情報学部・行動情報学科, 情報社会学科		
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">3</div> 30% 採点時の配点 30点	<p>Sample Answers :</p> <p>I am interested in smart cars. My hometown is in the countryside and my family has to use a car every day, but I don't like driving. Smart cars make it easier to drive for people who dislike driving. They also make driving safer. Soon, smart cars won't need drivers and then people in the countryside can travel easier. In the future, people won't own cars at all. When they want to go to the shop, they can call for a car to drive them. Smart cars will also prevent parking problems because people won't have to park their car. They can just call for a new car when they want to go home. That is why I am interested in smart cars.</p> <p>I am concerned about facial-reading technology. There is facial-reading technology in my smart phone, and that doesn't concern me. I am worried about street cameras. In the future, facial-reading technology can be everywhere. I will not be able to leave my home without people knowing where I am. It is okay if the police use the technology to catch criminals. But what if someone bad hacks the cameras? They could follow anybody and do very bad things. Facial-reading technology can also be wrong. It is very scary that a machine can mistake a criminal for an innocent person. This is why I think facial-reading technology can be dangerous and I am concerned about how it is used in the future.</p>		

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目目	英語（後期日程試験：令和5年度）	問題番号	GA
対象学部・学科	情報学部・行動情報学科、情報社会学科		
出題のねらい	<p>① 科学分野での歴史的発見に関する英文を読んで、展開と論旨を正確に把握する英文読解力をみる。</p> <p>② ヒトの感覚器官による知覚と脳での情報処理に関する英文を読んで、展開と論旨を正確に把握する英文読解力をみる。</p> <p>③ 作文課題について、自らの考えや思いを、読み手に伝わりやすい明晰な文章で書けるか否かの英文表現力・構成力をみる。</p>		
採点基準 (点数は100点満点の場合)	<p>① 配点 35%</p> <p style="padding-left: 40px;">問1 7点 問2 7点 問3 7点 問4 7点 問5 7点</p> <p>② 配点 35%</p> <p style="padding-left: 40px;">問1 7点 問2 6点 問3 6点 問4 6点 問5 10点 ((a) 2点 (b) 2点 (c) 2点 (d) 2点 (e) 2点)</p> <p>③ 配点 30%</p> <p style="padding-left: 40px;">30点</p>		